

ふきのとう

校内マラソン大会

今年も全力で走り抜けました！



男子スタート



女子スタート



男子はトップ3を陸上部が独占しました。



女子は3年生が上級生の意地を見せました。



男女それぞれの優勝者の表彰式



コロナ禍の中、今年度初めてといえる大きな学校行事で、みんないい表情を見せてくれました！

9月18日（金）あいにくの雨模様でしたが、恒例の校内マラソン大会がおこなわれ、男子9km、女子5kmをそれぞれの自己ベストとクラス総合優勝を目指して走りました。開会式では、クラスごとに団結式をおこない、クラスの団結力と士気を鼓舞しました。当日参加した生徒全員が規定時間内にゴールをすることができました。保護者の方からも応援とお手伝いをいただき、たいへんありがとうございました。結果は次のとおりです。

- 男子個人
- 第1位 3A黒坂康平
 - 第2位 1A佐藤旭
 - 第3位 1A小野竜一
 - 第4位 1A高橋鷹翼
 - 第5位 3A阿部功太郎

- 女子個人
- 第1位 1A佐藤鈴
 - 第2位 3A山田菜々
 - 第3位 3A佐藤つくみ
 - 第4位 1A伊藤美穂
 - 第5位 1A柴田和花

- クラス総合順位
- 第1位 1年A組
 - 第2位 3年A組
 - 第3位 2年A組



「命の教室」「がん」に関する講演

9月4日(金)、山形県立中央病院緩和ケアセンター緩和医療科長の神谷浩平先生から「高校生も知っておきたい、病気(がん)とともに歩む社会のこと」と題しまして「がん」という病気についての講演をしていただきました。がんに関する基本的な知識や早期発見の重要性、また、がんになっても希望をもって生き抜く患者さんの様子などのお話を聴きました。講演終了後に教室で、講演を聴いての感想を書きました。感想の一部を紹介します。



- ・がんになる人は年々増えてきていて、自分には関係ないかと思っていたけど、若い人でも病気にかかって亡くなったりしていて、他人事ではないんだと感じました。
- ・自分の将来就きたい仕事も高齢の方や身体が自由に動かせない人と関わっていく職業なので、いつどんなときに何があるかわからないということをしかり頭に入れて生活したいと思いました。また命の現場では、必ずしも良い結果で終われるわけじゃないということを忘れてはならないと思いました。
- ・がんの治療法は、手術・放射線・化学という3つの治療法があり、それぞれ違いがあることがわかったし、治療法を理解して、自分で選ぶという意識も大切だということ学びました。全てのがんは何かしらの原因があると思っていたので、原因がわからないがんもあると聞き、びっくりしました。

立合演説会・選挙

よろしくお願いします！

9月18日(金)午後に、生徒会新役員を決める立合演説会と選挙が行われました。責任者の応援演説の後、各立候補者が熱い決意表明をしてくれました。即日開票の結果、日食春人(2年生)新生徒会長をはじめ6名全員が信任されました。



生徒会引継会

新生徒会
活動開始！

9月23日(水)の各種委員会で各委員長も決定し、新執行部体制が確定したことを受け、9月24日(木)には生徒会からの引き継ぎ会が行われました。これまでの伝統を引き継ぎさらに真校が発展できるようにと、これまでの取り組み内容と課題等について話し合われました。

地区新人大会

9月12日(土)、13日(日)の両日、運動部の地区新人大大会が開催されました。柔道部では伊藤美穂(1年)が48kg以下級で2位に入賞し、県大会への出場権を得ました。バドミントン部は男子シングルで安彦琉功(2年)が、女子シングルで栗田侑奈(1年)がそれぞれ3回戦までコマを進めましたが、惜しくも県大会には届きませんでした。春の大会での雪辱を期待しています。



陸上部が東北大会へ

おめでとう！

9月11日(金)酒田市の光が丘陸上競技場で開催された県新人陸上競技大会において、ハンマー投げに出場した高橋薫(2年)が地区大会で自らが出した地区記録を更新する42.68mの好成績で第2位に入賞しました。円盤投げとやり投げに出場した高橋聖斗(2年)も健闘しました。高橋薫は10月に岩手県北上市で開催される東北大会へ出場します。

